

# Zoo Zoom おびひろ



## エソフクロウ

北海道でとても身近に見られるエソフクロウ。夜行性で音もなく獲物を捕らえる夜のハンターも、昼間の顔は表情豊かで可愛らしい。動物園では西側にあるコンドル・フクロウ舎に住んでいます。

撮影宮澤 龍彦

## ☆クイズ☆ わたしは だれ でしょう？



歯



後ろ足



しっぽ

ヒント♪ 泳ぐのがとっても得意だよ。  
答えは正解の動物近くに掲示しています。

## 獣医つれづれ日記 vol.9 ～”チーム人工哺育”の活動報告～

動物園では、動物の親が育てなかった赤ちゃんを、飼育員や獣医師が親代わりになって育てることがあります。今年にはカンガルーの赤ちゃんが2頭！ ついでにエゾリスの赤ちゃんも3頭ほど…。動物病院の手術室が、にわか授乳室と化しております。保護されたカンガルーの赤ちゃんは、頭からオシリまでが20cmくらい。形はカンガルーなのですが、全身の毛が全く無いピンク色の生物です。保温と保湿が必要なため、倉庫でホコリを被っていた人工保育器が、数十年の眠りから呼び覚まされました。



授乳は当初、1日6回。大きな保育器を自宅に持ち帰るわけにもいかないのので、夜中と早朝に出勤しての授乳は7人で交代制にすることに。“チーム人工哺育”の結成です。

ちなみにカンガルーのミルクは犬猫のミルクとは成分が全く異なり、発育ステージによっても成分が大きく変化するので、母国オーストラリアでは専用のカンガルーミルクが売られています。何とかしてそれを輸入したい、と税関通過を日々必死に祈った結果、無事にカンガルーミルクをゲットしました！栄養たっぷりのミルクを飲んで、2頭とも元気に育ってね～。

獣医師 M.S

おびひろ動物園情報誌『Zoo Zoom おびひろ』平成26年度秋号  
発行日：平成26年9月1日

編集・発行：おびひろ動物園 〒080-0846 帯広市緑ヶ丘2番地  
TEL：0155-24-2437 E-mail：zoo@city.obihiro.hokkaido.jp  
ホームページ：http://www.obihirozoo.jp/  
ブログ：http://www.mytokachi.jp/bp/obihirozoo/

ブログ携帯版  
はコチラから





# こんにちは あかちゃん♪

今年おびひろ動物園で生まれた動物のあかちゃんたちをご紹介します♪

今年もサル山でニホンザルのあかちゃんが誕生。あかちゃんは生まれてしばらくの間、1日のほとんどをお母さんザルに抱きかかえられて過ごします。生後3ヶ月ごろになると、少しずつひとり遊びや、他のサルたちとコミュニケーションを取れるようになり、群れのルールを学びます。1年～1年半くらいで乳離れし、おとなになるまでに5～7年くらいかかります。



エゾシカ舎では3頭の仔ジカが成長中。エゾシカのあかちゃんは生まれてすぐに自分の力で立ち上がります。生まれて1ヶ月ごろまでは外敵に見つからないよう、1日のほとんどを木陰にじっと隠れて過ごします。体には「鹿の子」と呼ばれる茶色に白い斑点模様があり、景色になじんで上手に姿を隠すことができます。しっかり歩けるようになると親子で連れ立って歩く姿をみることができます。



昨年、初めて繁殖に成功したシロフクロウに今年もヒナが誕生しました！生まれたときはヒヨコくらいの大きさですが、生後2ヶ月ほどで30センチくらいまで成長します。ヒナは灰色ですが、おとなになるとオスは体が白く、メスはまだら模様の羽に。ふ化したばかりの頃はストレスを与えないよう、展示場に目隠しをしていました。静かに見守られながら、すくすく成長しています。



エゾリスのあかちゃんは1度に1～6頭生まれます。今年はどうぐりのいいで3頭が誕生。生後1ヶ月半ごろまではお母さんリスのおっぱいをもらいながら巣箱の中だけで暮らします。生後2ヶ月ごろによく巣箱から出てきて、果物やひまわりの種など、おとなと同じものを食べられるようになり、生後3ヶ月くらいで親離れします。

カンガルーのあかちゃんは1グラムほどで生まれ、6ヶ月ほどお母さんのお腹の袋で育ちます。正確な出産の日が分からないので動物園ではお腹の袋から仔カンガルーが顔を出した日を誕生日としています。今年も2頭のカンガルーが生まれましたが、現在は飼育係が人工哺育で育てています。

